

学校法人 名古屋国際学園 Nagoya International School

模擬国連 世界各国から 1000 名以上の高校生が一堂に会して

考えてみたことがありますか？

イスラエルとパレスチナの紛争を解決し得るかもしれない話し合いの場に居合わせるのはどんな感じなのでしょう？ アフガニスタンやコンゴ、コソボなど、世界中の紛争地域での平和維持活動を推進するための話し合いで意見を求められたとしたら？ 発展途上国の貧困問題解決や、難民救済のための政策策定に関わることが出来るとしたら？ 地球温暖化について世界各国の指導者たちと意見を交換する機会に恵まれたら？

2009 年 11 月、シンガポールに各国から 1000 名以上の高校生を集めて 5 日間にわたり開催された、ハーグ模擬国連会議 (THIMUN) に参加した名古屋国際学園 (NIS) の 10 年生から 12 年生までの 12 名の生徒達は、まさにそんな体験をしたのです。

● 若き外交官たち

模擬国連とは、生徒達が様々な国の国連大使に扮し、一国の代表として国連総会や安全保障理事会などに出席することを、ロールプレイングとシミュレーションを通して身をもって体験する教育活動です。実際の国連と同様に、現実の世界で起こっているタイムリーかつ重要な問題について討議したり、

他国の支持を取り付けるため根回しをしたり、決議案を採択したりするのです。取り上げられるのは人権問題、環境問題、経済発展、軍縮、難民問題、そして世界平和についてなど、実際に国連でも討議される議題です。模擬国連活動は世界中に広まっており、日本国内でも行われていますが、このように世界各国の生徒が集まる模擬国連への参加は、インターナショナルスクールだからこそ出来る体験です。

各国の代表が目指すのは、国連総会本会議で決議案を通過させることですが、その為には、各代表が委員会において協力しあうことにより、他国との連携関係を発展させ、同盟関係を築いていく必要があります。これらの委員会もまた、軍縮国際安全委員会（東南アジア地域の安全保障、武器や軍事技術の取引規制、アフガニスタン情勢、地中海沿岸諸国の安全保障）、経済金融委員会（経済発展途上国における教育問題、対外債務を抱える発展途上国への支援問題、マクロ経済政策、産業協力を通しての貧困撲滅）、社会人道文化委員会（紛争地帯における性的暴力の廃絶、自立支援を必要とする人々のための社会的保護）、安全保障理事会（ハイチ情勢、コンゴ情勢、アルカイダ、タリバンへの制裁措置）、経済社会理事会（環境汚染による健康被害の削減、貧困撲滅のための国際協力の強化）など、実際の国連と同じく、具体的に現在の世界情勢を反映した様々なテーマに焦点を当てています。生徒達は、討議したり、交渉することを通して、現実の世界で起こっている問題への理解をさらに深めながら、様々な視点からそれらの問題の解決策を探ります。

● リサーチ、リサーチ、リサーチ

NIS では 9 月、新学年度が始まってすぐに模擬国連に参加するメンバーのミーティングが始まりました。参加者は自分の母国以外の国の代表にならなくてはなりません。NIS の 12 名の生徒達にはそれぞれ、スーダンとウズベキスタンの代表、そして中立の立場として参加する本会議の副議長、国連環境計画代表の役割が割り当てられ、早速各々の役割を果たすために必要なリサーチが始まりました。毎週放課後に行われる校内でのミーティングと、11 月の模擬国連の本会議に向けて、自

